資料1-5-2
科学技術·学術審議会研究計画·評価分科会宇宙開発利用部会

宇宙ステーション補給機「こうのとり」3号機(HTV3)の 打上げについて



2012年 7月19日

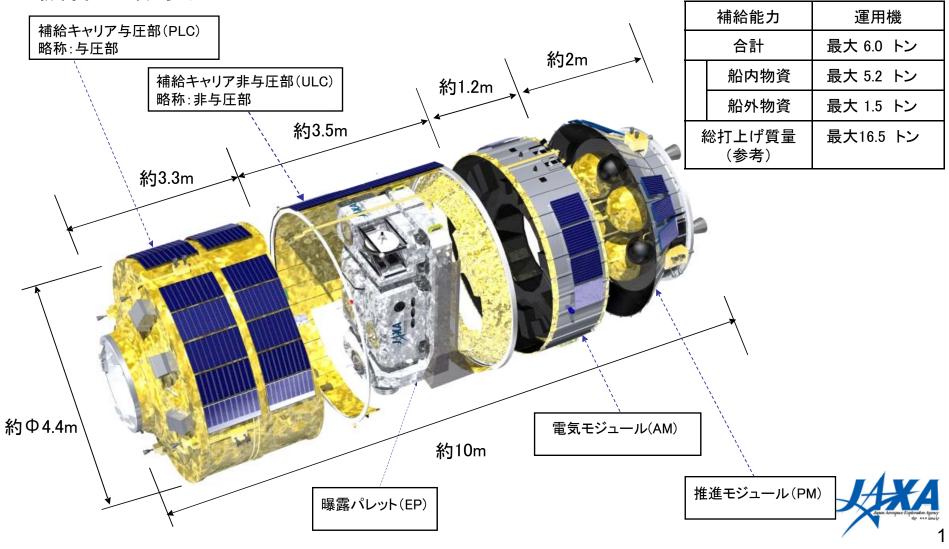
宇宙航空研究開発機構 有人宇宙環境利用ミッション本部 事業推進部長 上野 精一





1. 「こうのとり」3号機の概要(1/3)

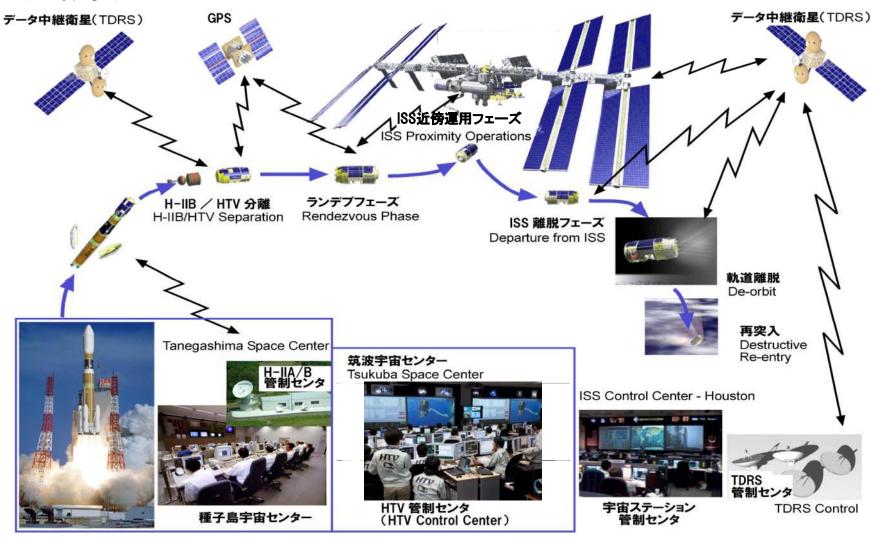
機体の概要





1. 「こうのとり」3号機の概要(2/3)

運用概要図





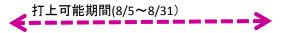
1. 「こうのとり」3号機の概要(3/3)

ミッションスケジュール

「こうのとり」3号機概略スケジュール 【ミッション期間=50日間(調整中)】

7/21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	8/1	2	3	4	5	6	7	8		9/7 8
打上げ						4・「子子が	入室									(曝露	パレッ	→ 小運用(~8/10)	離 再
				+t > *		把持・係留			₩								与	·圧部	輸送物資移送/廃棄	日本時間:16時頃(注)

(注: これらの時刻はISS軌道情報の更新と共に今後も変更される。)





2. 宇宙開発委員会での再突入安全審議結果の概要

JAXAによる宇宙ステーション補給機「こうのとり」3号機(HTV3)の再突入に係る安全対策については、 宇宙開発委員会が定める「ロケットによる人工衛星等の打上げに係る安全評価基準」に基づいており、 宇宙開発委員会の調査審議において、「妥当である」との評価を受けている。調査審議は以下の日程で 行われた。

宇宙開発委員会から安全部会への調査審議付託 ■平成24年3月14日

■平成24年3月16日 安全部会での調査審議(1回目)

■平成24年3月26日 安全部会での調査審議(2回目)

■平成24年4月 4日 安全部会から宇宙開発委員会への調査審議結果報告





3. 「こうのとり」3号機の射場整備作業結果(1/3)

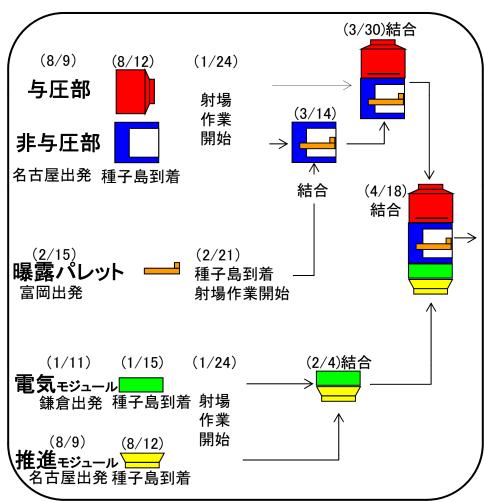
「こうのとり」3号機の種子島射場作業は、計画通り問題なく進捗している。



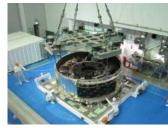
与圧部/非与圧部を種子島射場 に搬入



種子島射場での開梱 (上:与圧部、下:非与圧部)







種子島射場での開梱 (上:推進モジュール、 下: 電気モジュール)





3. 「こうのとり」3号機の射場整備作業結果(2/3)

• <u>HTV本体(電気モジュール+推進モジュール)</u>



搬入•据付(1/23, 1/27)

本体結合(2/4)



全機結合 (5/4)

次ページへ

• 与圧部



搬入後点検(2/3~2/13)



ラック搭載(2/18~2/28)



重量·重心測定 (3/17~3/21)



与圧部/非与圧部結合 (4/21)

非与圧部/曝露パレット



搬入後点検 (1/31~2/16)



曝露パレット輸送物資搭載 (2/29~3/3)



曝露パレット搭載(3/14) 重量・重心測定(3/28)





3. 「こうのとり」3号機の射場整備作業結果(3/3)

H-II Transfer Vehicle

前ページより











総合試験(推進系)(5/5~24) 総合試験(電気系)(5/25~6/1)

酸化剤充填/加圧 (6/6~12)

燃料充填/加圧 (6/13~18)



推薬充填後 P-BAT満充電 (6/18~20)



酸化剤タンク補加圧 (6/23~24)



最終組立/最終外観検査 (6/24)



HTV引渡し、 HTV/衛星分離部結合 (6/27)



MCEレイトアクセス@SFA2 (6/28)



フェアリング結合 (6/29~7/7)



VABへの移動(7/7)



H-IIBへの搭載(7/7)



レイトアクセス(7/10~19)



非与圧最終アクセス、 カウントダウン作業、 打上げ



4. 運用管制準備状況



- ・「こうのとり」3号機に必要な運用文書変更については完了。
- ・<u>運用管制要員の訓練を計画通り実施</u> し「こうのとり」2号機以降45回実施。 6月中に全て完了。必要な数の要員 認定を完了した。

運用管制要員訓練(NASAとの合同)を月1~2回のペースで実施。



太平洋回線

